

児童生徒を対象とした「探究」に係るコンテストの一覧を活用し、児童生徒の探究活動の充実に向けた対応の検討をお願いします。

6 初教課第43号  
令和6年12月17日

各都道府県教育委員会指導事務主管課長  
各指定都市教育委員会指導事務主管課長  
各都道府県私立学校主管課長  
附属学校を置く各国立大学法人附属学校事務主管課 殿  
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた  
各地方公共団体株式会社立学校事務主管課長

文部科学省初等中等教育局教育課程課長

武藤久慶

(公印省略)

児童生徒を対象とした「探究」に係るコンテストに関する調査結果  
及び「探究」に係る学習活動の充実について（通知）

現行の学習指導要領に基づき、小学校及び中学校では「総合的な学習の時間」、高等学校では「総合的な探究の時間」を中心に、各教科等の中で探究的な活動又は探究活動が展開されているところです。

現在、民間団体、国の関係機関、大学、地方公共団体等の様々な主体により実施されている児童生徒を対象とした「探究」に係るコンテストは、児童生徒が学習活動の成果を発表し、外部からの評価を得ることを可能とし、児童生徒が他者との意見交換等を行うことを通じて自分の考えを深めたり、興味・関心を一層喚起したりする上で、効果的な機会となっています。多様な主体によるコンテストが重層的に実施され、学習活動の成果発表等の機会が広がっていくことは、児童生徒の資質・能力の一層の育成に資するものと考えています。

この度、児童生徒を対象とした「探究」に係るコンテストの実施状況を調査し、結果を一覧に取りまとめ、下記の文部科学省ホームページに公表しました。つきましては、児童生徒の「探究」に係る学習活動の一層の充実を図るため、コンテストの一覧について各学校に対する周知をお願いします。また、「探究」に係るコンテストの充実に向けて、以下の取組の実施について検討をお願いします。

○民間団体、大学等より、「探究」に係るコンテストを各地で実施するに当たり、貴課へ協賛や後援の依頼があった際には、各地方自治体等の個別の御判断によることとはなりますが、域内の「探究」に係る学習活動を充実させる観点から、積極的な検討をお願いします。

○現時点で「探究」に係るコンテストを実施していない都道府県・政令指定都市教育委員会におかれては、全国の都道府県等の取組を参考としながら、地域の実情を踏まえ、コンテストの実施や、近隣地方自治体が実施するコンテストとの連携について御検討願います。

なお、今後、文部科学省として、大学等が、個別入学者選抜において高等学校までの探究に係る学習活動の成果を評価する際の検討に資するよう、大学等に対して本件のコンテストの一覧を周知する予定であることを申し添えます。

このことについて、各都道府県教育委員会指導事務主管課におかれては、所管の学校（小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、中等教育学校及び特別支援学校等をいう。）及び域内の市（政令指定都市を除く。）区町村教育委員会に対し周知するとともに、特に市区町村教育委員会へは所管の学校に対しても周知するよう、御伝達をお願いします。また、各指定都市教育委員会におかれては、所管の学校に対し、各都道府県私立学校事務主管課におかれては、所轄の学校及び学校法人に対し、各国立大学法人附属学校事務主管課におかれては、その設置する附属学校に対し、各地方公共団体株式会社立学校事務主管課におかれては、所轄の学校設置会社及び学校に対し、御周知いただきますようお願いいたします。

その際、学校における働き方改革の観点から、周知の方法については、例えば、他の案件とまとめて周知する、教育委員会主催の教員研修の場で配布する等、必要に応じて御判断いただきますようお願いいたします。

【公表 URL】※文部科学省ホームページ

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/sougou/main14\\_a2.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/main14_a2.htm)



＜一覧に掲載している「探究」に係るコンテストについて＞

- ① 「探究」の要素が読み取れるもの。「探究」とは、実社会や実生活の中から問いを見いだし（※）、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する学習活動のこと。  
※高等学校段階では、「実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし」となる。
- ② コンテストとは、学習活動の成果を外部に発信し評価を得る機会、多くの聴衆に対して発表する機会、異なる学校の児童生徒と意見交換・交流を行う機会などをいい、名称は「コンテスト」に限らず、「～大会」「～発表会」「～オリンピック」「～甲子園」「～グランプリ」などを含む。表彰の有無は問わない。単なる表彰・顕彰の機会や、指定されたテーマに関する考えや主張を作文・作品にして発表することに留まるもの、単に知識や技能を競うものなど、探究の要素が読み取れないものは除く。
- ③ 学習活動の分野は問わず、SDGs、科学技術、理数、STEAM、デジタル、プログラミング、政策立案、ビジネスなどを含む。
- ④ 独立行政法人を含む国の関係機関、都道府県教育委員会・指定都市教育委員会、大学等、民間団体（文部科学省の後援を受けているものに限る）が主催するコンテストを掲載。市区町村が主催するコンテストは掲載対象外とした。

【別紙】

令和6年8月19日付事務連絡「児童生徒を対象とした「探究」に係るコンテストの調査について（依頼）」

【参考資料】

[令和7年度大学入学者選実施要項](#)

（本件連絡先）  
文部科学省初等中等教育局  
教育課程課 企画調査係  
電話番号 03-5253-4111（内線 2365）  
e-mail [kyoiku@mext.go.jp](mailto:kyoiku@mext.go.jp)

事 務 連 絡  
令和 6 年 8 月 19 日

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課 御中

文部科学省初等中等教育局教育課程課

児童生徒を対象とした「探究」に係るコンテストの調査について（依頼）

平素より文部科学行政に格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、文部科学省では、児童生徒の「探究」に係る学習活動の充実を図るため、学校（小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校をいう。以下同じ。）の児童生徒を対象とした「探究」に係るコンテストについて、調査を実施することといたしました。調査の趣旨、項目等については別紙のとおりです。

つきましては、貴教育委員会において主催するコンテストについて、下記URLから、令和6年9月27日（金）までに御回答いただきますよう、お願いいたします。

※調査の内容について不明な事項等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ願います。

○回答URL ※QRコードからでも回答が可能です。

<https://forms.office.com/r/SxEdLpm48j>



※システム上の問題により、上記URLによる回答ができない場合は、調査項目の内容を下記担当者宛にメールにて御提出ください。

○別紙資料：調査の趣旨及び項目

< 本件連絡先 >  
文部科学省初等中等教育局教育課程課  
企画調査係（越田、中澤）  
〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2  
電話 03-6734-2565（直通）  
メール kyoiku@mext.go.jp

## 調査の趣旨及び項目

### 【調査の趣旨等】

- 現行の学習指導要領に基づき、小学校及び中学校では「総合的な学習の時間」、高等学校では「総合的な探究の時間」を中心に、各教科等の中で探究的な活動又は探究活動が展開されているところです。
- 現在、民間団体、国の関係機関、大学、地方自治体等の様々な主体により、児童生徒を対象とした「探究」に係るコンテストが数多く実施されております。このようなコンテストは、児童生徒が学習活動の成果を発表し、外部からの評価を得ることを可能とし、児童生徒が他者との意見交換等を行うことを通じて自分の考えを深めたり、興味・関心を一層喚起したりする上で、効果が大きい機会であると考えております。
- このたび文部科学省では、民間団体、国の関係機関、大学、都道府県教育委員会・指定都市教育委員会に対して、児童生徒を対象とする「探究」に係るコンテストについて調査を行い、その全体像を把握することとしております。把握した内容を教育委員会及び学校等に示すことで、学校の学習活動とコンテストとの連携を促すとともに、大学、企業等の関係機関に共有することで、学校の学習活動への協力等（専門家の学校への派遣等）を依頼することを検討しているところです。

### 【調査項目】

#### （１）対象となる「探究」に係るコンテスト

##### ①「探究」

- ・実社会や実生活の中から問いを見いだし（※）、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する学習活動

※高等学校段階では、「実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし」となる。

- ##### ②コンテストとは、学習活動の成果を外部に発信し評価を得る機会、多くの聴衆に対して発表する機会、異なる学校の児童生徒と意見交換・交流を行う機会などをいい、名称は「コンテスト」に限らず、「～大会」「～発表会」、「～オリンピック」、「～甲子園」、「～グランプリ」などを含む。表彰の有無は問わない。

- ##### ③学習活動の分野は問わず、SDGs、科学技術、理数、STEAM、デジタル、プログラミング、政策立案、ビジネスなどを含む。ただし、上記①の「探究」の要素を有しない行事、単なる表彰・顕彰の機会は除く。

## (2) 調査項目

○都道府県教育委員会及び指定都市教育委員会が、自ら主催する「探究」に係るコンテストについて、以下の項目に回答してください。

- ・コンテストの名称
- ・コンテストの内容（概要）
- ・対象（小学校段階、中学校段階、高等学校段階）
- ・表彰の有無、表彰の内容
- ・国等からの後援名義の有無
- ・開始年度
- ・コンテストの参加者数及び参加校数（直近の実績）
- ・コンテストの案内に係るホームページ（URL）

※本調査で文部科学省が把握した内容は、整理の上、以下のとおり公表等を行うことを予定。

- ・民間団体、国等の関係機関、大学が主催するコンテストについては、ホームページで一般向けに公開する。
- ・都道府県教育委員会・指定都市教育委員会が主催するコンテストについては、一覧に整理の上、全都道府県教育委員会・指定都市教育委員会に共有し、参考情報として、上記ホームページに当該一覧を掲載する（民間団体、国等の関係機関、大学等主催のものとは別に掲載する）。

※貴教育委員会が主催するものについて回答するものとし、後援するものは含まない。首長部局が主催するものも記載可能とする。

※令和6年度に実施するものを記載。ただし、令和6年度に実施しない場合でも、定期的（隔年、3年に1回など）に実施するものは記載可能とする。なお、令和6年度は実施するが、来年度以降は実施しないことが決定しているものは掲載しない。

※コンテストの内容には、学習活動の分野、コンテスト本番における発表等の形式（プレゼンテーション、ポスター発表等）を記載。

※対象は、小学校段階、中学校段階又は高等学校段階の複数段階にわたる場合は、それぞれ選択する（複数選択可）。これらの段階以外の年代（大学生等）も含めて対象者としている場合も記載可能とする。

※審査等による表彰の有無を記載。審査の流れの概略、授与する賞の名称・種類（文部科学大臣賞、知事賞等）の主要なものについても記載。

※国等から後援名義を受けている場合は、当該後援名義の発出者を記載。

※参加者数・参加校数は、直近の開催年度における実績数を記載。概数で記載することも可能とする。公表しない場合は「非公表」と記載。

※コンテストの案内に係るホームページは、参加者向けの案内ページのURLを記載。

以上